

8月15日(火)正午から、全国戦没者追悼式にあわせ、平和を願って1分間の黙とうをお願いします(総務課)

50歳以上の方 9月1日(金)から 带状疱疹ワクチン接種費用を助成します

带状疱疹は、水ぶくれを伴う発疹が皮膚に带状に出現する疾患で、50歳以上で発症率が増加します。ワクチンを接種することで、発症予防・重症化予防が期待できます。

市は、9月1日(金)から、带状疱疹ワクチン任意接種の費用の一部を助成します。接種の前に申し込みが必要です。带状疱疹ワクチンや、市内指定医療機関について、くわしくは市ホームページをご覧ください。



■対象

50歳以上の市民の方

■ワクチンの種類と助成額

次の2種類のワクチンのうち、どちらか一方の接種費用を助成します。

種類	生ワクチン(ビケン)	不活化ワクチン(シングリックス)
接種回数	1回	2回(2回目は1回目の2か月～6か月後に接種)
助成額	5,000円 (生活保護受給者、中国残留邦人等支援給付受給者は10,000円)	1回当たり10,000円 (生活保護受給者、中国残留邦人等支援給付受給者は1回当たり20,000円)
接種方法	皮下注射	筋肉注射
予防効果*	69.8%	96.6%
持続性	5年程度	9年以上

*50歳～59歳に対する効果(「東京都保健医療局」のホームページより)

▶注意事項=▷助成を受けられるのは生涯に1度限りです▷8月31日(木)までに受けた接種や、申し込みをせずに受けた接種は助成の対象外です▷接種費用が助成金額を下回る場合は、接種費用を助成上限額とします▷どちらのワクチンを接種するかは医師に相談してください▷新型コロナウイルスワクチン接種とは13日以上の間隔を空けてください

■申込方法

8月10日(木)から、下記の方法で申し込みを受け付けます。

- ・インターネット申請 申込フォーム(右2次元コードからアクセス可)から申し込んでください。
- ・電話申請・郵送申請 「带状疱疹ワクチン接種助成申込」、氏名(ふりがな)、住所、生年月日、電話番号、希望するワクチンを、電話、または郵送で健康推進課予防健診係(〒190-0011高松町3-22-9健康会館内) ☎(527)3272へ。



■接種場所

市内指定医療機関
医療機関によって取り扱うワクチンや接種費用(自己負担額)が異なります。

■接種の流れ

申し込み後、市が予診票を送付します。予診票が届いたら、市内指定医療機関に電話で接種の予約をしてください。

予診票、本人確認書類、受給証明書(生活保護受給者等の方)を持って市内指定医療機関で接種を受け、接種費用から助成金額を差し引いた額を支払ってください。

☎健康推進課予防健診係 ☎(527)3272

新型コロナウイルスワクチン接種

令和5年度実施中の接種と今後の予定

新型コロナウイルスワクチン接種は、令和5年度も自己負担なし(無料)で接種できます。現在は、65歳以上の方などを対象に「令和5年春開始接種」を実施しているほか、初回接種も継続して実施しています。9月からは、「令和5年秋開始接種」の実施が検討されています。くわしくは、市ホームページをご覧ください。



■「令和5年春開始接種」(実施中)

65歳以上の方や、基礎疾患がある方などを対象に5月8日から実施している「令和5年春開始接種」は、8月をもって終了します。「令和5年春開始接種」で使用しているオミクロン株対応2価ワクチンも、現在流行しているオミクロンXBB系統の感染による重症化予防効果があります。接種を希望する方は、お早めにご予約をお願いします。

■「令和5年秋開始接種」(9月以降)

国は、9月から、初回(1回・2回目)接種を終えた5歳以上の方を対象に追加接種を実施することを検討しています。7月30日現在、接種対象や使用するワクチン、接種時期などの議論が進められています。市は、国の方針が決まり次第速やかに市内医療機関等で接種を開始していきます。くわしくは、今後の「広報たちかわ」や市ホームページでお知らせします。

■新型コロナウイルスワクチン接種の予約・相談、お問い合わせ

- 立川市新型コロナウイルスワクチン接種予約センター(コールセンター)
☎0120(741)567

[土曜・日曜日、祝日を除く、午前8時30分～午後5時30分]

- 立川市接種予約システム(右2次元コードからアクセス可)
<https://v-yoyaku.jp/132021-tachikawa>



■新型コロナウイルス感染症に関する健康相談、医療機関のご案内など

- 東京都新型コロナ相談センター
☎0120(670)440

[土曜・日曜日、祝日を含む、24時間]



熱中症にご注意!

- 日陰や「立川ひと涼みスポット」等を利用してこまめに休憩しましょう。
「立川ひと涼みスポットマップ」を市の公共施設等で配布しています。
- 外出時は日傘・帽子を活用しましょう。
- 室内にいても水分をこまめにとりましょう。
- 無理をせず、適度にエアコンなどを使いましょう。
- 熱中症警戒アラートが発表されたら特に注意しましょう。

